

事業活動地球温暖化対策計画書

(あて先)川崎市長

郵便番号 210-0801
 住 所 川崎市川崎区鈴木町1番2号
 氏 名 味の素ファインテクノ株式会社
 代表取締役社長 中村茂雄

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第9条第1項(同条第4項において読み替えて準用する場合を含む。)の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	味の素ファインテクノ株式会社		
主たる事務所又は 事業所の所在地	川崎市 川崎区鈴木町1番2号		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者(任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	E	製造業
	中分類	16	化学工業
主たる事業 の内容	電子材料、機能材料の開発、製造、販売		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	2,000	kl
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO ₂

計 画 期 間	2019 年度 ～ 2021 年度
温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
備 考	当社の環境への配慮についてはホームページにて公表しています。 https://www.aft-website.com/

備考1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。

2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。

3 計画書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。

4 ※印の欄は記入しないでください。

5 氏名(法人にあっては、その代表者)を記載し、押印することに代えて、本人(法人にあっては、その代表者)が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策計画

1 温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針

(1) 温室効果ガス排出量削減に向けた方針

【環境負荷とリスクの低減】

私たちは、低炭素型社会と資源循環型社会の実現のため資源を有効利用し、省エネルギー、省資源および廃棄物の削減に努めます。また、取り扱う化学物質の環境と労働安全衛生に与える影響を認識し、環境汚染を防止するとともにリスクを低減します。

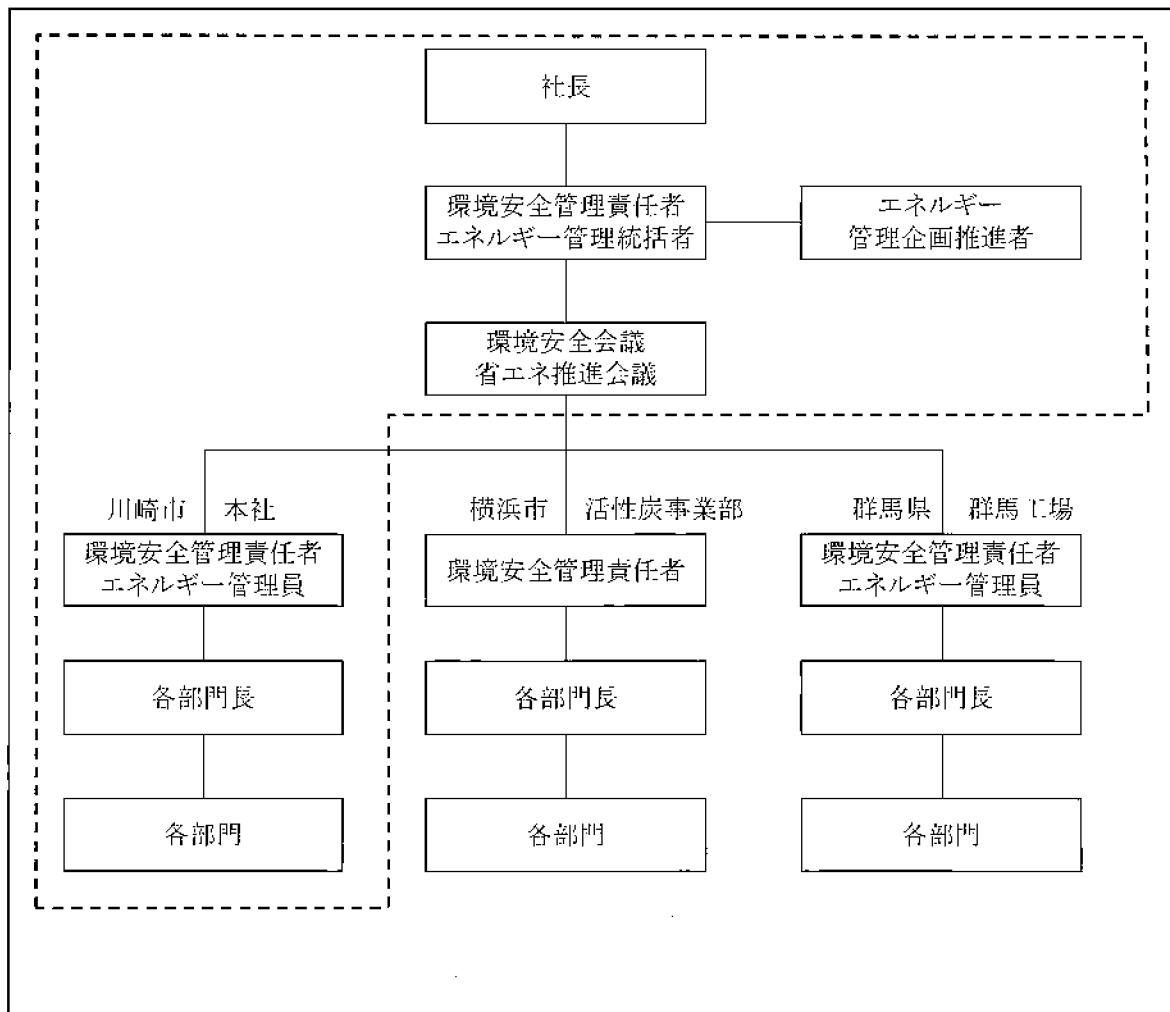
(2) 削減対策実施状況の適切な進行管理(PDCAサイクル)を行うための方針

【マネジメントシステム】

私たちは、トップマネジメントのリーダーシップのもと、品質・環境・労働安全衛生の目標を定め、マネジメントシステムを効果的に運用して継続的改善に取り組みます。

省エネ法とISOに基づき、省エネ対策を環境目標に取り込み下記の管理体制のもと実施している。

2 温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制



3 温室効果ガスの排出の量の削減目標等

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量等

ア 基準排出量と目標排出量((実)は実排出量を、(調)は調整後排出量を示す。以下同じ。)

		1、2、4号該当者等		3号該当者等		
基準	年度	2018				年度
目標	年度	2021				年度
基準	排出量	(実)	2,961	(実)		
		(調)	2,961 t-CO ₂	(調)	t-CO ₂	
目標	排出量	(実)	3,236	(実)		
		(調)	3,236 t-CO ₂	(調)	t-CO ₂	
削減量		(実)	-275 t-CO ₂	(実)	t-CO ₂	
内訳	対策実施による削減量	(実)	52 t-CO ₂	(実)	t-CO ₂	
	上記以外の削減量	(実)	-327 t-CO ₂	(実)	t-CO ₂	
削減率		(実)	-9.3 %	(実)	%	

イ 基準排出量原単位等と目標排出量原単位等(任意記載)

		1、2、4号該当者等		3号該当者等	
原単位等の活動量		売り上げ			
原単位の単位		t-CO ₂ /百万円			
基準年度の値		0.3264			
目標年度の値		0.2114			
削減率		35.2 %			

ウ 目標設定に関する説明

当事業所では研究開発を推進するため設備導入にともない、毎年3%のエネルギー使用増加が見込まれる。省エネ対策により炭酸ガス52tonを削減できると見込んでいるが、307ton増加すると考えられる。しかし既存製品と高付加価値製品の拡販により売り上げが増加し、原単位は改善する目標とした。

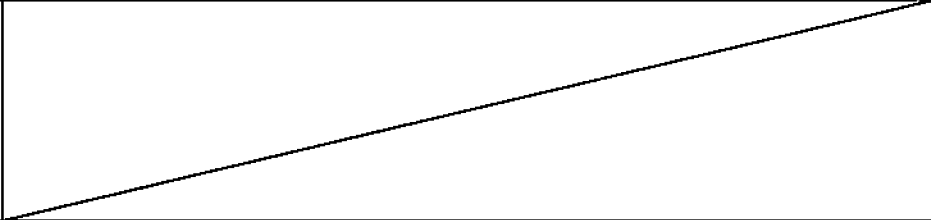
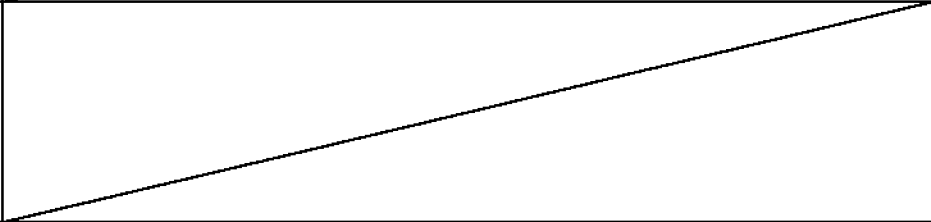
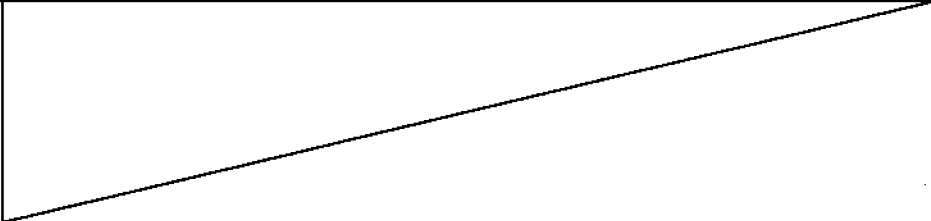
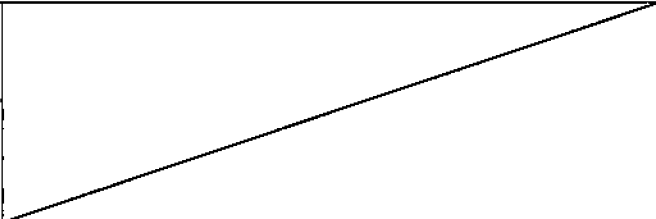
(2) 温室効果ガスの排出の量の削減目標(全社目標)(任意記載)

生産の振り分けにより当事業所で原単位が悪化したとしても、全社で改善できる目標とする。

4 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項

(1) 措置の内容

ア 計画期間に実施する措置の内容(別表第1から6等を参考に記載してください。)

<p>計画</p>	<p>(1) スチームトラップを点検する。 (2) 夏季に生産停止口を設定し空調を停止する。 (3) 空調設備を点検する。 (4) 空調チラーのインバータ化を検討する。 (5) エアコンプレッサー台数制御の範囲を拡大する。 (6) 工場内照明をLED化する。</p>
<p>第1年度</p>	
<p>第2年度</p>	
<p>第3年度</p>	
<p>計画期間における取組の評価 (第3年度の報告時に記載)</p>	

イ 実施済みの主な温室効果ガスの排出の量の削減対策内容

<p> </p>

(2)再生可能エネルギー源等の利用等

ア 基準年度までに実施した再生可能エネルギー源等の利用に係る検討状況

(検討済みの場合は「○」、未検討の場合は「×」を記載し、検討済みの場合は検討結果を記載してください。)

再生可能エネルギー源等の種類	検討の有無	検討結果
太陽光	×	
風力	×	
バイオマス	○	グリーン電力証書300万kWh分を購入予定。
木利用エネルギー	×	
その他()		
その他()		

イ 再生可能エネルギー源等を利用した設備の導入状況・計画及び再生可能エネルギー源等の価値の保有状況・計画

種類	概要(規模、場所など)	導入(保有)年度

(3) 基準年度までに実施したエネルギーの効率的な利用を図るための設備等の導入・検討状況

(導入済みの場合は「○」、導入検討中の場合は「△」、導入予定なしの場合は「×」を記載してください。)

設備等の種類	導入等の状況	設備等の種類	導入等の状況
電気自動車等への充電設備	×	エネルギー管理システム(FEMS、BEMS等)	×
電気自動車等から建物等への給電設備	×	その他()	
EV、PHV、FCV	×	その他()	

5 他者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項

計 画	なし
第1年度	/
第2年度	/
第3年度	/

6 その他、地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項

計 画	(1)事務用品はエコ商品を優先購入している。 (2)廃棄物の分別、減量を推進している。 (3)省エネルギーキャンペーンを実施している。 (4)環境教育による啓もう活動を実施している。
第1年度	/
第2年度	/
第3年度	/

7 基準年度のエネルギー起源CO₂の排出の量等の実績(1、2号該当者等)

(1) 事業者単位

ア エネルギー起源CO₂の排出量

(実)	2,961	t-CO ₂
(調)	-	

イ 原油換算エネルギー使用量

2,000	KL
-------	----

ウ 事業所の数

1

(2) 事業所等単位

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kl 以上の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量
味の素ファインテクノ株式会社	川崎市川崎区鈴木町1番2号	2,961 t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂